

## KAT-2 は細孔空隙を密実にします。

### ◎ 施工要領

事前確認	コンクリートの打設28日又は設計強度発現を確認。		
施工温度	5℃以上40℃以下を確認。		
養生	ガラス・アルミ・鉄・化粧タイル・手すり・自動車等は養生してください。		
下地処理	汚れ・藻・カビ・苔・ひび割れ・スケーリング・ジャンカ・遊離石灰・漏水・欠損・Pコン詰モル等は事前に処理してください。 (下地処理方法が解からない場合は販売元又は代理店にお尋ね下さい)		
散水	施工面の事前散水は必要ありません。		
塗布	・劣化防止	新設 0.20ℓ/m <sup>2</sup> 既設 0.25ℓ以上/m <sup>2</sup>	) 飽和状態の確保
	・防水	新設 0.25ℓ/m <sup>2</sup> 既設 0.25ℓ以上/m <sup>2</sup>	
	・初期乾燥収縮抑制	0.05ℓ/m <sup>2</sup> (KAT-2養生用)	
塗布回数	2~3回 含浸状況・塗布部位を考慮する。 ※KAT-2は希釈しないで原液のまま使用して下さい。 ※塗布方法は刷毛・ローラー・噴霧器で行って下さい。 ◎塗布量が目的によって異なるのはw/cや施工等によってコンクリートの密度に斑が生じているからです。 ◎初期乾燥収縮ひび割れ抑制は塗布量が過剰にならないように注意する。		
散水洗浄	必要ありません。溜りは処理して下さい。		

### ◎ 保管・取扱い上の注意事項

1. 施工時は換気を十二分に行い防塵マスク・防護眼鏡・作業用手袋を着用する。
2. 蓋をしっかりと閉め子供の手の届かない5℃~30℃の温度変化の少ない暗所で保管して下さい。
3. 目に入った時は水で洗眼し、また飲み込んだときは水を飲んで専門の医師の診察を受ける。
4. 皮膚に付着した時は石鹼で洗い流す。
5. 容器は使い切ってから廃棄する。
6. 材料が残ったまま廃棄するときは法律に従って処理、又は専門の業者に委託する。
7. その他詳細は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

### ◎ 荷姿

KAT-2 16ℓ缶      KAT-2(養生用) 16ℓ缶  
KAT-IS 寒冷期型(マイナス10℃まで使用可能)もあります。

製造・発売元

**CONK 株式会社 コンク**

〒062-0035  
札幌市豊平区西岡5条3丁目12番15号  
TEL 011-867-0115 FAX 011-852-1371  
● <http://www.conk.jp> ● [mail: info@conk.jp](mailto:info@conk.jp)

販売・施工代理店

水溶性コンクリート表面含浸材(ケイ酸塩系)

# KAT-2

(コンクリート・モルタルの空隙を緻密化)

施工前湿潤・施工後洗浄不要

- ・初期乾燥ひび割れ抑制
- ・凍結融解抵抗性向上(凍害抑制)
- ・強化(圧縮強度向上・擦減抵抗性向上)
- ・塩害・中性化・遊離石灰抑制
- ・止水
- ・防水
- ・アルカリ性回復
- ・付着強化(モルタル・タイル・塗料)

**CONK 株式会社 コンク**  
<http://www.conk.jp>

## KAT-2 は密実にします。

### ◎ 滲んでいる漏水が止まる

地下コンクリートの入隅部、屋上、床版などから滲んで出る漏水が止まります。また、コンクリートの下面に遊離石灰が出てることがあります。KAT-2は水の粒子よりも小さいので漏水の水と共に浸透して止水します。(但し、ひび割れを伴う場合や揺れを伴う場合はご相談下さい。)KAT-2はコンクリート内部で乾燥ゲル化を永久的に繰り返します。



※ 滲んだ漏水から遊離石灰が出てくる

### ◎ ひび割れ充填

0.2mm以下のひび割れは有機系やセメント系の注入材は注入困難です。KAT-2は充填して内部で固化（貫通や遊離石灰のあるひび割れは代理店・販売元に問い合わせして下さい。）します。

### 屋上・バルコニー・壁・ピットの防水

- 1 コンクリート打設翌日KAT-2養生用を初期乾燥収縮クラック防止として塗布
- 2 打設4週以降に防水としてKAT-2を塗布
- 3 再施工は15～20年後です。  
※重歩行部分にも使用できます  
※再施工・取り壊し最終処分時にも産業廃棄物は排出しません

※ 毛細管空隙を緻密化しプリスタリングやピンホールを生じにくくします。

### 外壁面

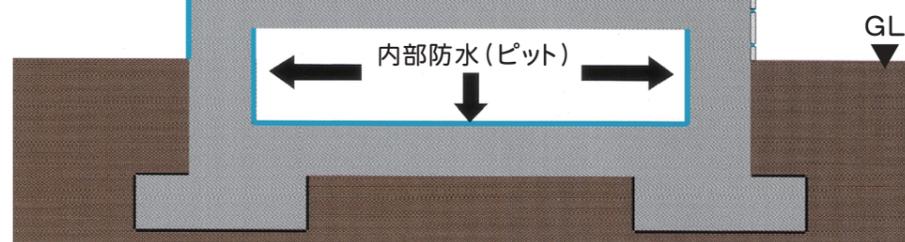
- ・ 打放コンクリートの凍害やひび割れ防止にKAT-2を塗布します。
- ・ コンクリート内のカルシウムが安定して遊離石灰が出にくくなります。
- ・ コンクリート新設時の打設色斑やコンパネ渋汁等の補修を提案します。
- ・ 上塗り塗装の付着力が高くなります。

- ・ 耐久化・長寿命化にはゲルコンSPを上塗りして下さい。
- ・ 屋上防水の改修（塗膜・シートの撤去が必要です）も出来ます。（ひび割れ・漏水・ドレン廻りにも対応した防水が出来ます）
- ・ 擦り減り抑制・防塵も出来ます



タイル目地に塗布するとタイルの付着強度がUPします。

※ 改修に用いるコンクリートの劣化状況は潜伏期までとして下さい。進展期以上の劣化の場合は一定の前処理をして下さい。  
詳しい事は販売元又は代理店に問い合わせして下さい。



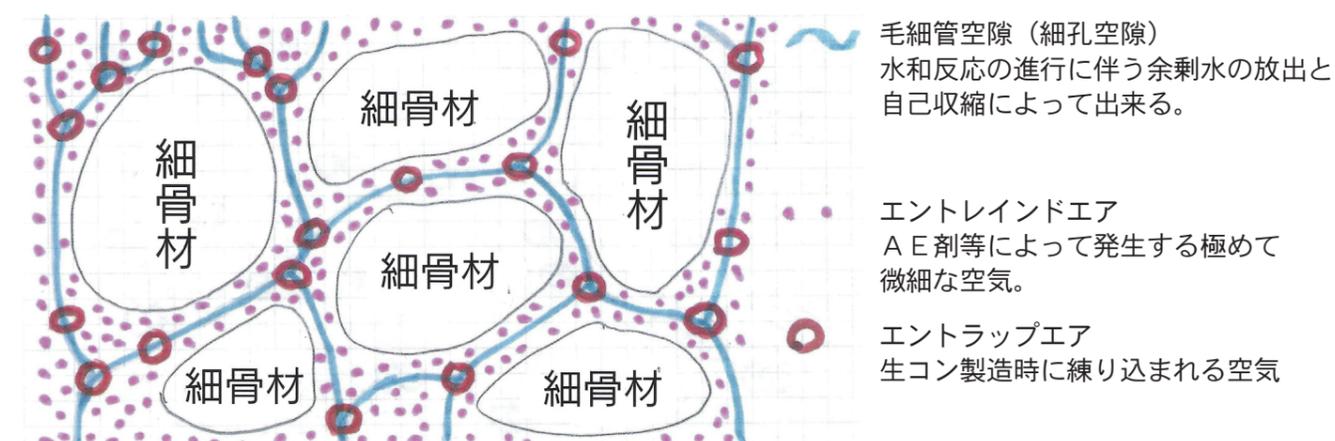
- ◎ 床版・風呂・水槽・ピット内等の防水が出来ます。
- ◎ 無色透明で艶もなくコンクリート素地のままの仕上がりです。
- ◎ KAT-2は再ゲル化して効果が持続します。

## KAT-2 は、細孔空隙を密実にします。

### ◎ カルシウムを安定化し高密度にする

KAT-2の主原料であるケイ酸ナトリウムは細孔空隙に浸透し、コンクリート中の水酸化カルシウムと反応し、水酸化ナトリウムとケイ酸カルシウムを生成し、細孔空隙に浸透して密度を高めコンクリートが本来持っている耐久性や防水機能を高めます。

コンクリート細孔空隙の想像図（セメントペーストのゲル層が水和反応の進行によりゲル間細孔空隙は出来ます）



### KAT-2養生用がひび割れ抑制に有効な理由

コンクリート打設翌日又は型枠脱型直後に塗布することは、コンクリート内の水が蒸発を抑制して水和反応を長時間持続させることで、乾燥収縮、自己収縮が起きにくくなり、初期のひび割れを抑制します。水の蒸発を抑制することで、未水和のカルシウムが少なくなり、強度が高くなります。通常生コンに用いられる水はセメントに対して55～60%ですが水和反応に必要な水は25～28%です。

### KAT-2の性能試験データ

試験項目	塗布	未塗布	備考
* 圧縮強度	26.1N/mm <sup>2</sup>	23.9N/mm <sup>2</sup>	JIS A 1108
* 曲げ強さ 炭素繊維+エポキシ樹脂	29.48N/mm <sup>2</sup>	25.86N/mm <sup>2</sup>	JIS A 1171:2000
透水量試験 日本塗料検査協会	5.33mL	7.54mL	JISCE K572 2013
透湿度試験 日本塗料検査協会	0.34%	0.32%	JISCE K572 2013
* 凍結融解試験 実質減少率	1.15%	2.75%	JIS A 1148
* 付着強度試験 (カチオン系タイル接着モルタル)	4.33N/mm <sup>2</sup>	2.3N/mm <sup>2</sup>	JIS A 6909:2003 (気中養生)
* 付着強度試験 (ポリマーセメント)	1.47N/mm <sup>2</sup>	1.05N/mm <sup>2</sup>	JIS A 6909:2003 (気中養生)
浸出試験 東京食品技術研究所	適合		JWWA Z 108:2012 厚生省令第15号

\* 印は、備考に準拠した自社試験データです。

### ◎ ゲルコン工法とは

コンクリートの耐久性・延命化に最も安価で有効な方法です。どんなに注意して慎重に打設されたコンクリートでも均一な密度を確保することはできません。先ず”KAT-2”を塗布して一定以上の密度を確保し、次にコンクリートの劣化要因の90%以上を占める水の浸透を”ゲルコンSP”を塗布することで撥水・遮水層を形成して抑制する工法です。